

【シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京 公演演目について】

[特別協賛 (プレゼンティングスポンサー)] 株式会社ジェーシービー

[クリエーター]

ギー・ラリベルテ	ガイド&ファウンダー
フランソワ・ジラルル	原案 / 演出
フランソワ・セガン	セット・デザイナー
リン・トランブレー	ディレクター・オブ・クリエイション
ルネ・アプリル	衣装デザイナー
レネ・デュペレ	作曲
デボラ・ブラウン	振付け
デーヴィッド・フィン	照明デザイナー
フランソワ・ベルジュロン	サウンド・デザイナー
セルジュ・ラモット	脚本
スコット・オズグッド	アクロバット装置デザイナー
フロランス・ポ	アクロバティック・パフォーマンス・デザイナー

[ショーのコンセプトについて]

2つの全く相容れない世界「天」と「地」。この異なる2つの世界が、1人の登場人物の冒険を通じて、互いに理解し、調和していくさまを、魅力あるユニークな登場人物たちと色鮮やかな衣装や演出効果、ダイナミックなパフォーマンスで描きます。

本作品は、当シアター完全オリジナル作品です。

[フランソワ・ジラールについて]

本作品の演出を手がけるフランソワ・ジラールは、オペラそして演劇界では大胆なステージ構成で知られています。それと同時に、映画監督としてもその才能を広く知られています。

映画では、『グレン・グールドをめぐる 32 章』（日本公開 1994 年 10 月）によって世界中の注目を集め、また『レッド・バイオリン』（日本公開 1999 年 4 月）では、アカデミー賞（音楽賞）を受賞し、ゴールデン・グローブ賞（外国語映画賞）にもノミネートされました。

今年の東京国際映画祭のクロージング作品である、彼の新作『シルク』（原作：アレックスサンドロ・バリッコ『絹』（白水社刊））も 2008 年 正月第二弾で全国公開される予定です。この異文化の人々の交流を描く作品の撮影は、物語の舞台である日本で多くが行われました。主人公であるフランスの絹の貿易商夫婦を、マイケル・ピットとキーラ・ナイトレイが演じ、日本からは役所広司や中谷美紀が出演しています。また音楽では『ラストエンペラー』でアカデミー賞（作曲賞）を受賞した坂本龍一も参加しています。

一般の方のお問い合わせ、および団体の予約受付窓口は、
以下の通りご紹介頂きますようお願い致します。

シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京 団体予約デスク TEL 0570-02-8333

PHS、一部の IP 電話および国際電話からはご利用できませんのでご了承ください
受付時間 11:00 ~ 17:00（土・日・祝日・年末年始は除く）